京交

市労連総決起集会
年末一時金2.05月分

団結

～2013年11月12日（月）18時15分から市役所前広場に於いて、市労連傘下構成単組の最大動員のもと総決起集会が開催された～

約一一〇〇人が集結した総決起集会は、瀬戸副執行委員長（京交）の開会の挨拶に続き、宮内市労連書記長から「二〇一三年確定闘争」における情勢報告がなされた。現在、市民への影響を回避すべく苦渋の決断で実施している給与減額措置に加え、人事委員会報告では住居手当や現給保障、五〇歳台の賃金抑制、給与制度の総合的見直し等に言及してきたが、市労連七単組の団結力を発揮し、交渉した結果、改悪を阻止し大綱妥結となった。

司会を務めた
瀬戸市労連副委員長

決意表明に立つ
辻井電車副部長

また単組報告として、今回は京交が決意表明の当番に当たっていたため、辻井電車副部長が「京交を取り巻く状況」を力強く発表し決起集会を盛り上げた。最後に、要求実現に向けて松田（京水労）市労連委員長の発声のもと「団結ガンバロウ」で決起集会を締め括った。（詳細は市労連情報をご参照ください。）

▼西賀茂支部▲ エンパワメント活動報告

⌘⌘⌘「みそのばしフェスティバル with ゆるキャラ」⌘⌘⌘

平成二十五年十月二十日（日）、北区にある御薗橋商店街で行われた「みそのばしフェスティバル二〇一三ｗｉｔｈゆるキャラ」に参加してきました。毎年恒例の地域一体の取り組みとして今年で四回目の参加となり、本年はデコレーションバスの「フェニックス号」を展示し、地域住民の方々に楽しんでいただきました。支部では、前日から「フェニックス号」を隅々まで清掃し、ボディのワックス掛けなど準備に精を出しましたが、当日は生憎雨に見舞われ残念な天気となってしまいました。しかし、宮井支部長を先頭に手伝いをした組合員は落ち込む事も無く、元気一杯に慣れた様子でてきぱきと準備をされていました。開催直後は雨足も強く来場者が少なかったものの、お昼頃になるとみるみる増えて、バス周辺では親子連れを中心に大変活気がでました。今回の展示では昨年同様、バスの運転席で、制服、帽子を着て撮影ができたり、客席の開放見学やエンジンルームの見学などを楽しんでいただきました。また、外では風船とシールを配布し、受け取った子どもたちは大変喜んでいました。いまや西賀茂支部は「みそのばしフェスティバル」に欠かせない存在となり、これからも地域密着の公営交通を目指し、愛される市バスとなるよう、来年以降も参加していきます。

フェスティバル入口

エンジンルーム開放

車内も開放し、
楽しんでいただきました

風船はいつでも大人気です

京交
自治労
京都交通労働組合
電話(075)841－0948
発行者　瀬戸高志
編集者　佐田　悟

・・一　面・・
・市労連総決起集会
・エンパワメント活動報告
・今月の言葉
・From みぶ
・ナンプレ
・都夢ちゃんのひとり言

・・二　面・・
・ぶらり「烏丸営業所」訪問

今月の言葉

小利を見れば、則ち大事成らず

孔子の弟子に子夏という人物がいた。その子夏が莒父という町の長官に任命されたとき、政治の取り組み方について孔子のアドバイスを求めたという。孔子はこう答えている。

「速やかなるを欲するなかれ。小利を見るなかれ。速やかならんと欲すれば、則ち達せず。小利を見れば、則ち大事成らず」

念のため訳せば、つぎのようになる。

「あせらぬこと、そして小利にまどわされぬことだ。あせると仕損じるし、小利にまどわされると大きな仕事をやり遂げることができない」

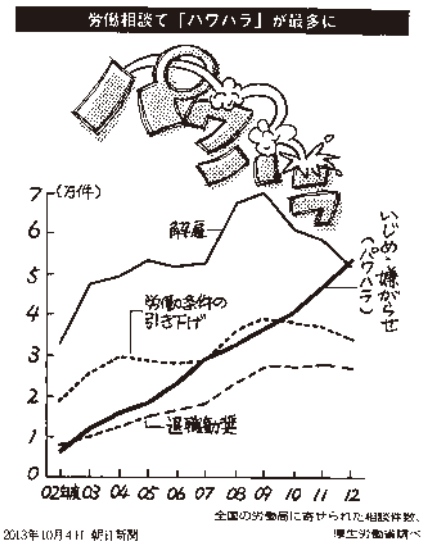
この心構えは、政治だけでなく、どんな仕事についてもあてはまる。長期の目標を立て、その目標に向かって一歩一歩着実な前進をはかる。そうすれば、あせることもないし、小利にまどわされることもないだろう。

孔子のアドバイスは、一見平凡なようでいて、いつも勘所をビシリととらえている。

From みぶ

人を追いつめるパワハラ
いじめなどの相談が急増

「ノルマをこなさないと上司に人として扱ってもらえない。長時間労働のあげく監視され罵倒され…」職場の上司による肉体的、精神的に苦痛を強いるパワーハラスメントが増えている。二〇一二年度に全国の労働局に寄せられた「いじめ・いやがらせ」の、いわゆるパワハラ相談は五万件を超え、最多となった。働き手を苦しめ、時に自殺にまで追い込むパワハラ。拝啓にあるのは過酷な職場環境だ。早急な改善が求められる。



都夢ちゃんのひとり言

がん細胞に新薬剤
分裂止める効果が

がん細胞が分裂・増殖するのに不可欠な遺伝子の働きを妨げる薬剤を開発したと、がん研究会と理化学研究所の研究チームが米がん専門誌オンコジーン電子版に発表した。ヒトのがん細胞をマウスに移植し、この薬剤を飲ませたところ、がん細胞だけ分裂・増殖を抑えることができたといい、新たな抗がん剤になる可能性があるという。がん細胞は正常な細胞より盛んに分裂、増殖する。細胞が分裂する際には、ＤＮＡが集まった染色体が複製され、二つに均等に分配される必要がある。がん研究会の八尾良司主任研究員らは、この複製された染色体を引き離す「微小管」を制御する遺伝子「ＴＡＣＣ３」に注目し、この遺伝子の働きを妨げると、微小管の配置が乱れ、細胞分裂が止まることが分かった。六八〇〇種類の化合物の中から有力な薬剤候補を探し出し、濃度が低くても効くよう改良して薬剤「ＳＰＬ」を開発した。

脳に刺激を！超難問？ナンプレ

「ナンプレ」のコーナーです。ちょっと一息！頭のリフレッシュしてみませんか？下記のマスを全部埋めてください。正解者の中から抽選で三人の方に「全国百貨店共通商品券」千円分をプレゼントします。どしどし応募してください。

このナンプレが解けた方は、支部名、コード番号、名前、機関紙に対するご意見ご要望等を記入の上、京交本部教宣部機関紙編集チームまでお送りください。

締め切りは十一月二十九日（金）必着です。なお当選者の発表は次号以降の機関紙「京交」で！

					5		3	
	7		8					5
		2				1		
	6		7		8			4
5			4		9		1	
		1				7		
9					3		4	
	8		6					

ぶらり「烏丸営業所」訪問

営業所概要

所在地	京都市北区小山北上総町49番地１ 電話　075－491－0430（内線5671） ＦＡＸ　075－495－0729
敷地面積	9,867.35㎡
建物面積	ア　事務所棟（鉄筋コンクリート地上１階、地下３階建）延べ　892.44㎡ イ　整備棟（鉄筋コンクリート地上１階、地下３階建）　延べ　352.94㎡ ウ　ターミナル（鉄筋コンリート地上１階、地下３階建）延べ 5,986.20㎡ 合　計　　延べ 7,231.58㎡
営業所開設日	昭和53年10月１日 （現建物は平成６年３月26日）
収容届出台数	100両
在籍車両数	86両
職員数	183名
操車場	烏丸操車場　所在地：京都市北区小山北上総町49番地１（烏丸営業所内）
担当系統	101号系統、204号系統、206号系統、北１号系統、北３号系統、北８号系統

所長・副所長インタビュー

①家族構成　②趣味　③前職　④交通局に入局していなかったら　⑤交通局へのお願い

所長

中山　茂所長

①母と嫁の３人暮らし　②車を使わず出歩くこと　③電気関係の営業職その後トラック運転手　④営業マン　⑤楽しく仕事をしていきたい。地下で限られたスペースしかないため分煙など環境を良くしていきたい。そのためにＪＴとのマナー啓発などで協力していきたい。

副所長

岡山達也副所長

①子供３人　②野球観戦（阪神戦）　③図書館アルバイト　④教師(社会、国語)　⑤地下で難しいが運行管理システムを取り入れて欲しい。

・・・烏丸営業所の特徴を教えてもらいました。・・・

北大路バスターミナルは乗降人数が１万６千人で京都駅前・四条河原町・西大路四条に次いで第４位であり、206号などの観光路線も受け持っており非常に多くのお客様に利用していただいています。お客様には雨に濡れることなく地下鉄から乗り換え出来る特徴もあります。車両に関しては営業所が地下であるため車幅が短い車両のみとなっております。この車両は新車購入時に補助金対象にならない為、メーカーに申し入れるなどをして新車導入できるようにしていきたいです。地下の営業所ということで、視察に訪れる方は多いのかとお訪ねしますと、最近は少なくなっているとのことでした。

取材員が感じたことは、中山所長・岡山副所長とも様々な現場を経験されているため、幅広い交流や知識をお持ちであることや雰囲気が和やかだったことが印象的でした。

組合員インタビュー

①名前　②年齢　③入局年月　④家族構成　⑤趣味　⑥前職　⑦交通局に入局していなかったら　⑧交通局に期待すること

①中川太志さん

②37才
③平成21年２月
④妻、娘３人、息子１人
⑤ゴルフ、将棋、ジョギング
⑥電気機械メンテナンス系
⑦宅配便勤務
⑧健全化団体を脱却してもすべきことはたくさんあると思うので、できることをやっていくべきではないか。

①蔭山陽一さん

②35才
③平成25年１月
④独身
⑤ジョギング
⑥民間バス運転士
⑦（流れ作業的）工場勤務
⑧自分事ですが、定年までお客様の為に、一生懸命頑張ります。

平成二十五年十月七日（月）、第五回となりました「ぶらり職場訪問」に行ってきました。今回は全国でも珍しい地下にバスターミナルがある烏丸営業所にお邪魔しました。北大路タウン地下にある烏丸営業所は、京都で唯一バス地下鉄が隣接する営業所です。地下鉄北大路駅改札に集合した取材員は、たくさんの出入り口が存在する地下迷路のような造りの中、定期券売り場の前から階段を上がり、烏丸支部三役の案内で早速取材に入りました。まず、中山所長をはじめとする事務所の方々に挨拶をし、点呼場や発券機、乗務鞄置きを取材しました。前回で紹介したと同様、アルコールチェックや出勤状況を見る事が出来ました。今回、注目したのは八月から試験導入されています、ドライブレコーダーの情報システムです。乗務員全員がＳＤカードを携帯し乗務中ドライブレコーダーに挿入し運行状況を記録させ乗務終了後に確認出来るというものです。急止反動や制限速度、クラクションを鳴らした回数等、細かくグラフ化され、総合点数、ランク評価を確認でき、事故防止や自らの運転状況を確認出来るものです。その後、施設取材として運行を管理する操車の取材を行い、烏丸は地下にある為、運行管理システムが導入出来ず、バス営業所では唯一の手書き伝票の為、操車係員は乗務交代を帰って来たバスと交代する方を一致させて手書きするのに大変苦労されていました。そして、休憩場所や食堂を取材させて頂き、更衣室、お風呂、仮眠室を取材し、車庫に移動しました。烏丸営業所はバスの駐車スペースが一〇・五M車にしか対応しておらず近年導入されている補助金対応のハイブリット車や一一Mのロング車が使用出来無く、五年程新車が配車されていないそうです。そして、監査場を見せて頂き、油場を取材しました。ここでは、二つ問題があり、洗車機は給油と同じ通路で隣接してある為に給油混雑時には洗車が出来ないそうです。そして、給油場では給油ホースが右側タンクにしか対応しておらず、補助金対応のノンステップ車両は車椅子固定場所の関係で左側使用になっており、給油出来ません。この事も新車を導入出来ない理由になっているそうです。その後、バスターミナルの赤乗り場（北大路バスターミナルは行き先により青乗り場と赤乗り場に分かれています。）に移動し、実際にお客様が乗降する状況を取材しました。北大路バスターミナルの乗り場には危険防止の自動ドアが設置してあり、バスが到着するとセンサーが感知して内側ドアが開きます。昔に設計されている為に二ステップバス用にセンサーが付いているので、中扉車で合わすと降り口が合わないそうです。その後、会議室に移動して中山所長と岡山副所長、続いて運転士さんお二人のインタビューを行いました。なかでも中川太志運転士は、八月に乗務中痴漢を捕まえられて表彰予定とのことです。また、今年入局された陰山陽一運転士にもインタビューを行い、午前中の取材を終えました。昼食は烏丸営業所の向かい側にある、洋食屋「ＧＥＮＰＥ」に行き、ハンバーグ、とんかつチキンカツの定食メニューを頂きました。周辺の方で知らない人は居ないという名店だけあってボリュームは勿論、デミグラスソースが絶品。大変美味しく頂きました。午後からは二〇六号系統の乗車体験に向かい、烏丸営業所の取材を終えました。烏丸営業所の皆さん、ありがとうございました。

乗務鞄置き場

点呼台に設置されているアルコール検知器

烏丸営業所の顔である看板

洗車機

憩いのひととき、食堂です

インタビューの様子

地下車庫に整然と並んだ車両

バスが到着すると開く自動ドア

206号系統で密着取材した森田康雅指導運転士

①名前　②年齢　③入局年月　④家族構成　⑤趣味　⑥前職　⑦交通局に入局していなかったら　⑧交通局に期待すること

①森田康雅
②42才
③平成15年３月
④独身
⑤旅行
⑥民間バス運転士
⑦ホノルル市営バス運転士
⑧特にないが、師匠の教えの１つに、「臆病者と言われる勇気を持て」がある。意味は深い。この教えを大切に日々の乗務をしていく。

近くのおすすめグルメ

北大路ビブレの真向かいにある「ＧＥＮＰＥ」を紹介します。

ハンバーグやチキンカツの美味しい洋食屋さんです。

今のマスターで２代目になられるそうで、地下鉄の駅が出来る前から営業されています。

ママも愛想のよい方で、楽しく食事が出来ました。

皆さんも近くに行かれる事がありましたら、是非立ち寄ってみて下さい。

～206号系統乗車体験記～

烏丸営業所の取材では、京都の主要な観光地を通る路線で利用客数が多い 206号に乗車することにした。13時13分、北大路バスターミナル出発。バスは地上へ上がり、大徳寺、建勲神社の前を通り千本通りへ、そこから南下し出世稲荷、二条駅前を通り四条大宮からは大宮通りを南下する。京都市水族館がある七条大宮を東に行き京都駅前バスターミナルへ。そこからさらに東に行き三十三間堂、清水寺がある五条坂を通って京都大学のある百万遍を通り、植物園前を通って北大路バスターミナルに戻り乗務員交代をする。一周約100分のコースである。今回の乗車は、昼食時間帯だったので観光で利用される方より、地元の方のほうが多いような気がした。といっても絶えずガイドブックを片手に乗ってくる観光客の方もいる。京都駅では「ベビーカーが大きくて降車口からは下ろせないので乗車口からでも構いませんか？」とのお客様の問いに、森田指導運転士は「では、そのままでは柵があるので少し前へ出します」と快く対応し、また、荷物が重くてなかなかバスに乗れないお客様には荷物を乗せるのを手伝いにいこうとする姿が印象的だった。今回の取材では乗車後、森田指導運転士とお話しする機会があり「荷物を上げるのを手伝う時、運転席を空にしていいかどうか判断に悩みます。」とおっしゃっていましたが、躊躇なくお客様のために行動できるところが素晴らしいことだと思いました。

・・・取材中の教宣部員・・・

支部三役

烏丸営業所にお邪魔して、きちんと整理整頓が出来ているなぁというのが最初の感想でした。廊下の掲示物や食堂のコップに至るまで本当にキチッとされていました。支部の壁紙の張替えやトラック４杯分の倉庫掃除もされたそうです。狭いスペースの有効活用だけでなく、作業を通した一体感で支部の結束力も強化されています。「何でも言うてきて」と気さくな足立支部長でした。ただ、今年は大好きな「イカ釣り」にあまり行けていないのが残念だそうです。

烏丸営業所担当系統

101号系統

204号系統

206号系統

北１号系統

北３号系統

北８号系統